ネコノトピア・ネコノマニア（1990）

メディア TV
ジャンル
製作国 日本
色彩 Color
TV放映 1990/05/02 ～
水曜日
２２：００～２３：２０
日本放送協会

【解説】
登校拒否を続ける女子高生・頼子は、夜の街をあてどなくさまよい、“猫”の署名で 駅の伝言板に思いつきを書きなぐったりしている毎日だ。ある夜、学校に入り込んだ頼子は、校庭で走っている菅野という少年と逢う。菅野は家出中の少年で、普段は脚をギブスで被って過ごしていた。菅野と奇妙な共同生活をしているのが上田という中年。上田は路上で犬猫を商い、有金は競馬につぎ込んでしまういい加減な中年で、やはり妻子を残して家出したらしかった。なんとはなしに一緒に過ごすようになる三人。犬猫の問屋として向かった家で、頼子はたくさんの猫と暮らす老女と逢う。彼女は伝言板の“猫”の少女に親近感を抱いているらしかった。
ＮＨＫスペシャル枠の「ニューウェイヴドラマ」の中の一作として放送された作品。好評で、翌年にはビデオ化された。ノベライズは、写真を織り込んだ美しい絵本のように作ってあった。そういった点からみても非常に大切に扱われた作品、なわけだが、それ以上にドラマとしても文句無しの傑作である。いい加減な大人を演じて妙に光る萩原健一、怪しげで謎めいた老女・岸田今日子の二人も嬉しいが、主人公の工藤夕貴、屈託のある少年役真木蔵人もやはり納得のキャスティングである。彼等が街の死角のような場所をさまよい、何をするでもなく確かに生きている様はまさに“猫”と呼ぶのがふさわしい。ラストはさりげなくもなかなかに衝撃的だが、やはり生き続けるだろう“猫たち”を感じさせる。

【クレジット】
演出 木村淳
制作 高橋康夫
脚本 藤田一朗
木村淳
撮影 小高文夫
音楽 小野誠彦
出演 工藤夕貴 Youki Kudoh
真木蔵人
岸田今日子
萩原健一

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.